

みどり森インタープリターの“四方山（よもやま）話”

さいたま緑の森博物館（通称：みどり森）のインタープリターによる四方山話のコーナー。みどり森で起こった出来事や面白いこと、ビックリしたことなどを、各号スタッフが持ち回りでお届けします。

「展示室への来訪者」

今号の担当：中尾 祐太（おっち）

私がみどり森に勤務したこの8年間、展示室にて人間以外の多くの来訪者に遭遇してきました。特に静かな平日や雨の日に多く、トンボやチョウは日常茶飯事。今回は私が驚いた来訪者を紹介します！

第1位「ママシ」

6月の雨の日、展示室の床にへびがいるのが見えたので近づくと、園内ではなかなかお目にかかれないママシでした！園路沿いに『ママシ注意』の看板があるけれどさすがに展示室にいるとは思いません。気が付かずに踏まなくてよかったとヒヤリとしました。

第2位「キジバト」

10月になると展示室周りで脱穀・精米作業を行うため、こぼれた米を求めて、野鳥がうろうろします。キジバトは夢中で米を食べていたのか展示室の中に居て、銚合わせしたものだから、キジバトも私も大慌て！バタバタと展示室を飛び回り外へ逃がすのが大変でした。

第3位「アズマヒキガエル」

12月はみどり森も大掃除。展示室の段ボールをどかしていると、隙間に縮こまったアズマヒキガエルが…なんでここに？と思うのと同時に、つぶさなくてよかったと思いました。

様々な生きものが身近にいるみどり森。よく散策に来ている方でも思わぬ場所で生きものに遭遇する楽しみがあります。みなさんからも「こんなところで〇〇を見たよ！」という報告をお待ちしています♪



例えば、へび＝地面とは限りません！

さいたま緑の森博物館 利用案内



狭山丘陵の北西部に位置する、里山の自然そのものを展示とした野外博物館です。

HP <https://saitama-midorinomori.jp/>
※ QRコードから開けます

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日（祝日の場合は開館し翌日が休館）
祝日の翌日、年末年始

所在地 埼玉県入間市宮寺889-1

電話・FAX 04-2934-4396

アクセス 公共交通機関をご利用の場合、
小手指駅南口より西武バス「宮寺西」行き
または「金子駅入口」行き乗車、約25分
「荻原バス停」下車、徒歩約10分

※駐車スペースに限りがありますの電車・バスをご利用ください。



緑の森博物館の 利用ルール

緑の森博物館では、以下の8つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- ① 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生きものをむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- ② 他から持ち込んだ動植物（外来種）を放さないでください。
- ③ 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- ④ 犬などのペットを放さないでください。（フンの後始末もしっかりと行いましょう）
- ⑤ 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- ⑥ バーベキューや花火など火を使わないでください。
- ⑦ ゴミは持ち帰りましょう。
- ⑧ ラジコンやドローンは使わないでください。

さいたま緑の森博物館
ニュースレター
Saitama Midori-no-mori Nature Park

はくぶつかんだより No. 50

今年はニイニイゼミが6/23に鳴きはじめました。この声を聞くと梅雨も後半で、もうじき厳しい暑さの夏が来ると感じます。

またあの暑い日々がやって来ると思うと気がめいりますが、植物にとってはたくさん太陽を浴びて光合成を行い、エネルギーを作る欠かせない季節です。今回、ニュースレターを担当した私の好きな植物は『ツル植物』で、様々な工夫をしながら成長する姿はとても興味深いです。中面の特集でみどり森で見られるツル植物をご紹介しますのでご覧ください。（青野）



イベント情報（7月～9月）

電話（04-2934-4396）で博物館までご連絡ください。また、当館ホームページからもお申し込みできます。

イベント名	実施日	対象、定員等	概要	申込期間
親子はじめての自然観察会 「夜の生きもの観察」	8/5（土） 17:00～20:00	対象：小学生と保護者 定員：20名（抽選） 参加費：100円（保険代）	日が暮れた雑木林は、いったいどのような生きものが活動始めるのか？懐中電灯を手に親子で生きものさがしをしよう。	7/9(水) ～7/11(火)
里山体験教室 「ため池の かいぼりをしよう」	9/9（土） 10:00～12:30	対象：小学生以上 （小学生は保護者と参加） 定員：20名（抽選） 参加費：100円（保険・材料代）	昔から里山で行われてきた管理作業の一つ、【かいぼり】を行います。生きもの観察もあわせ、かいぼりを体験しよう！	8/9（水） ～ 8/15（火）
里山ようちえん 「カエル組」	9/16（土） 10:00～13:30	対象：R5年4/1時点で 満4・5歳児と親御さん 定員：20名（抽選）	参加費：親子2名で1,000円 1名追加ごと500円	8/16(日) ～8/22(火)
「オタマ組」	9/23（土祝） 10:00～13:30	対象：R5年4/1時点で 満2・3歳児と親御さん 定員：15名（抽選）	子どもの成長段階や好奇心に合わせながら、親子で里山の自然の中で遊びます。お弁当と飲み物持参。お菓子付き。	8/23(水) ～8/29(火)

散策時の注意事項

- ① スズメバチの活動が活発になってくる時期ですので、散策時には十分ご注意ください。もしも巣を発見した場合は、案内所にお知らせください。
- ② カエンタケが発生し始めましたので、見つけたら絶対に触らず、案内所までお知らせください。
- ③ 昨年、ナラ枯れした木の枝や幹がもろくなってきています。風や雨が強いと折れたり、倒れたりする可能性が高くなります。周囲に気を付けて散策してください。また、これから台風が多い季節になります。台風が通過した翌日に当館スタッフで全ルート of 安全確認を行いますので、安全が確認できるまで無理な散策はお控えください。

博物館からのお願い

夏は昆虫やトカゲやカエルなど、生きもの探しが楽しい時期ですね。みどり森は自然そのものが展示物の施設なので、来年の夏も多くの生きものに出会えるように捕まえた生きものは持ち帰らず、観察後にもと居た場所に逃がしてあげてくださいね！

上みて! 下みて! 探そう!!

みどり森のツル植物

夏に生い茂るたくさんの植物。その多くが光合成をすることでエネルギーを得ています。光合成で得たエネルギーの一部は、植物自身が体を支える為に幹や茎を硬くすることに費やします。ツル植物は、他の植物に取り付くことで体を支えるので、その分のエネルギーを成長や葉を増やすことに回せるようになった仲間です。

いろいろな 取り付き方で!

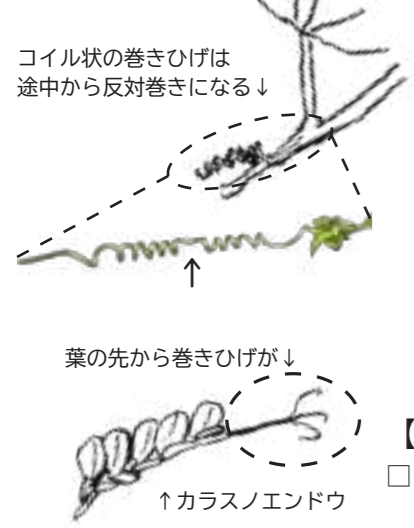
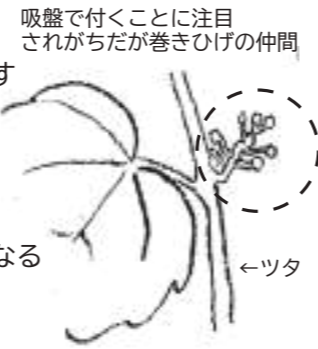
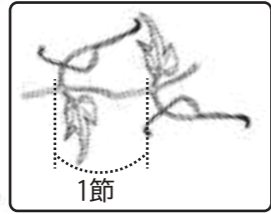
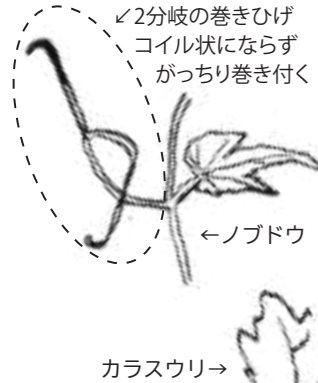
一様にツル植物と言ってもその「取り付き方」はさまざまです。今回はその取り付きかたの違いとみどり森で観察できる種類を紹介します。
みどり森には、なんと23科44種のツル植物が確認されています。まだ見つからない種類もあるかも…。是非、皆さんも探してみてください。
※種名表記は、木の仲間は**太文字**、草の仲間は細文字にしてあります。

巻きひげで

巻きひげも植物によってさまざま 【みどり森では4科10種】

【ブドウ科】

- ノブドウ**：ふつう2分岐で、3節以上続けて出すことがある
- エビヅル**：ふつう2分岐で、2節続けて出して1節出さないを繰り返す
- ヤブカラシ**：ふつう2分岐しコイル状になる
- ツタ**：よく分岐し先端が吸盤になる

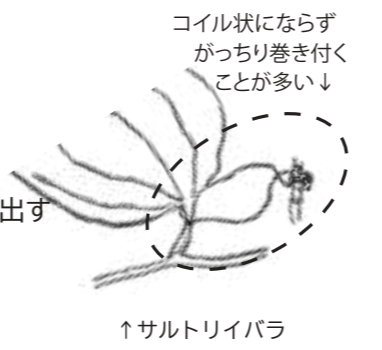


【ウリ科】

- カラスウリ**：ふつう単一か2分岐しコイル状になる
- スズメウリ**：ふつう単一まれに2分岐しコイル状になる
- アマチャズル**：先端が2分岐しコイル状になる

【サルトリイバラ科】

- サルトリイバラ**：托葉が変化した巻きひげを1対出す
茎からはトゲがまばらに出る
- タチシオデ**：托葉が変化した巻きひげを1対出す



【マメ科】

- カラスノエンドウ**：巻きひげは葉の先からふつう3分岐する

トゲや枝をひっかけて

茎や葉からとげを出してひっかける 【みどり森では5科7種】

【バラ科】

- ノイバラ**：大きな下向きのトゲが生える

【タデ科】

- イシミカワ**：下向きの硬いトゲがまばらに生える
- ママコノシリヌグイ**：下向きの硬いトゲが多く生える

【アカネ科】

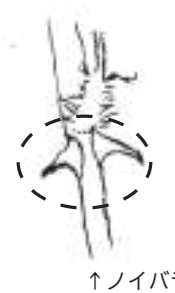
- アカネ**：4角形の茎に下向きの小さなとげが生える
- ヤエムグラ**：4角形の茎に下向きの細かなとげが生える

【グミ科】

- ツルグミ**：枝が斜め下にのびる

【ナデシコ科】

- ナンバンハコベ**：細かい毛が生え、よく枝分かれする



根で

茎から根を出して張り付く 【みどり森では2科2種】



【ウコギ科】

- キツタ**：細かい根がたくさん出る
- キョウチクトウ科**
- テイカカズラ**：硬めの根が出る

葉柄で

葉柄で巻きつく 【みどり森では2科3種】



【キンポウゲ科】

- センニンソウ**：奇数羽状複葉で3、5、7枚の小葉
- コボタンヅル**：2回3出複葉の9枚の小葉

【ナス科】

- ヒヨドリジョウゴ**：基本的には寄りかかり葉柄が巻き付く

茎で

若い茎が成長する過程で巻きつく 【みどり森では12科22種】

右から左に巻きあがる	どちらもある	左から右に巻きあがる
【マメ科】 □ ノダフジ	【キョウチクトウ科】 □オオカモメヅル □コバノカモメヅル	□ヤブマメ □ノササゲ □ホドイモ □クズ □ガガイモ
【アサカ科】 □カナムグラ	□カラハナソウ	
【ヤマノイモ科】 □オニドコロ		□ヤマノイモ
【アカネ科】 □ヘクソカズラ	※巻く方向については今回参考にした文献によっても違いがあります。たまに反対のものがあつたりするかもしれません。	【ヒルガオ科】 □ヒルガオ
【スイカズラ科】 □スイカズラ		【アケビ科】 □アケビ
【マツブサ科】 □サネカズラ		【ツズラフジ科】 □アオツツラフジ
【クロウメモドキ科】 □クマヤナギ		【ニシキギ科】 □ツルウメモドキ

～里山とツル植物①～
雑木林の管理作業の1つにフジなどのツルを切る『ツル切り』があります。大切な売り物になる木を真っ直ぐ、素性を良く育てる大切な作業です。5月にフジが綺麗な花を咲かせていることがありますが里山として人の手が入らなくなっていることを物語っているようで感慨深いです。

～里山とツル植物②～
ナラ枯れしてしまったコナラの大木…今の時期に見ると、あれ?生き返った?と見間違ふほど、幹を上ってきたツル植物が青々と葉を茂らせているのを目にします。コナラの葉が無いので気持ちよく光合成をしているようですが、数年のうちにコナラの木ごと倒れてしまうと思うと少し複雑な気持ちになります。

【参考図書】 ●里山のつる性植物(〔著〕谷川栄子〔写真〕本間秀和)NHK出版 ●フェンスの植物—はい回る蔓たち(〔著〕石井 由紀、熊田 達夫)山と溪谷社 ●神奈川県植物誌2018(神奈川県植物誌調査会)神奈川県植物誌調査会